

## 切り抜き 社会理解深める

### 愛教大と本社が共同研究

中日新聞社が主催している

「新聞切り抜き作品コンクール」で、子どもたちが

作品作りを通じて、社会への

理解が深まるなどの教育

効果があることが分かった。

愛知教育大と中日新聞

社の共同研究。県内の公立

小・中学校を対象に、二年

間かけて調べた。

研究結果によると、総合

的な学習の時間で目指して

いる資質や能力・態度の多

くで向上傾向が見られた。

中でも、地域社会の一員と

して自分に行き届くことはな

いかと考へ、社会や地域の

課題解決に向けて主体的に

活動したいと思う「社会参

画」の力は、小学生、中学

生共に高まった。

また小学生では、問題解

決に役立つ情報を集め、情

報が正しいか考へる「収集

分析」なども、作品作りを取

り組む前より明確に向上し

た。中学生では、日本国内

や世界で起きている出来事

を自分で調べたり考へたり

する「社会関心」などの力が

向上する傾向が見られた。

作品作りを通じて社会理

解が深まると、その問題に

ついて自分は何ができる

か、何をすべきかなどを考

え「自己理解」の力も高ま

ることが明らかになった。

研究に当たった愛教大の

梅田恭子准教授は「社会や

自己理解を深めるには、時

間をかけて作品作りに取り

組む必要があり、文化的・

社会的課題をふまえたテー

マを設定して自分の考へを

書くことが大切になる」と

話した。

切り抜き作品は、好きな

テーマに沿って新聞記事を

集めて切り抜き、再構成し

て模造紙に貼ってレイアウ

トする。コンクールは昨年

度までに二十六回開催し、

昨年度は六千点以上の作品

が寄せられた。作品の作り

方や応募方法など詳細は、

中日新聞NIEホームページ

（「中日NIE」で検索）

を参照。

